

令和2年度地域づくり表彰 総評

第37回目となる令和2年度地域づくり表彰では、より効果的な地域づくり活動の奨励を図るため、新たに部門制度が採用され、従来の募集に相当する「地域づくり部門」に加えて「小さな拠点部門」が設けられました。都道府県を通じて、全国から計41の多様な候補事例が推薦されて参りました。

厳正な審査の結果、今年度は、総合的に優れた最優秀賞に相当する「国土交通大臣賞」を部門毎に1事例ずつ、地域活性化への顕著な功績を賞する「全国地域づくり推進協議会会長賞」を2事例、国土の利用・整備・保全等に係る功績を賞する「国土計画協会会長賞」を1事例、地域産業の振興等に係る功績を賞する「日本政策投資銀行賞」を1事例、地域活性化への功績を賞する「地域づくり表彰審査会特別賞」を2事例、計8事例を表彰することとしました。いずれも、「活動の広がり」「継続性」「地域資源の活用」「創意工夫」「成果」の観点から優れており、審査会において高い評価を得たものです。

今後、これらの事例が魅力ある地域づくりをより一層推進するとともに、優良な取組として他の地域の先導となることを期待しております。

令和2年度地域づくり表彰審査会

座長 坂田 一郎（東京大学副学長・経営企画室長 工学系研究科教授）